

**地域資源（自然・景観）を活用した
高付加価値な観光コンテンツ作り**

三好市について

徳島県有数の観光地で

大歩危・小歩危や祖谷溪が有名

市を訪れる観光客数**100**万人

かずら橋を渡る人は**20**万人

ラフティングの国際大会も開かれ

吉野川でのラフティングには**5**万人が参加



【課題】 観光客は訪れるが観光消費額が伸びない

秘境をリデザインする

既存の観光客とは違ったターゲット、アプローチで観光コンテンツを高付加価値かしたい。三好市の美しい溪谷、歴史と伝説が息づく場所を舞台に、都市部とはまったく違う、交通のアクセスも容易でない「秘境」を軸に、特別な時間や提供パーソナルでプライベートな体験を提供することで、心身のリフレッシュを提供したい。

ポイント

京都、大阪など都市部と対比させた三好の里山でプライベートな時間を過ごす

知的好奇心が高く、地域文化に興味を持つ層と深い交流を生み出す体験

観光コンテンツの高付加価値化に向けて

01

交通アクセス

02

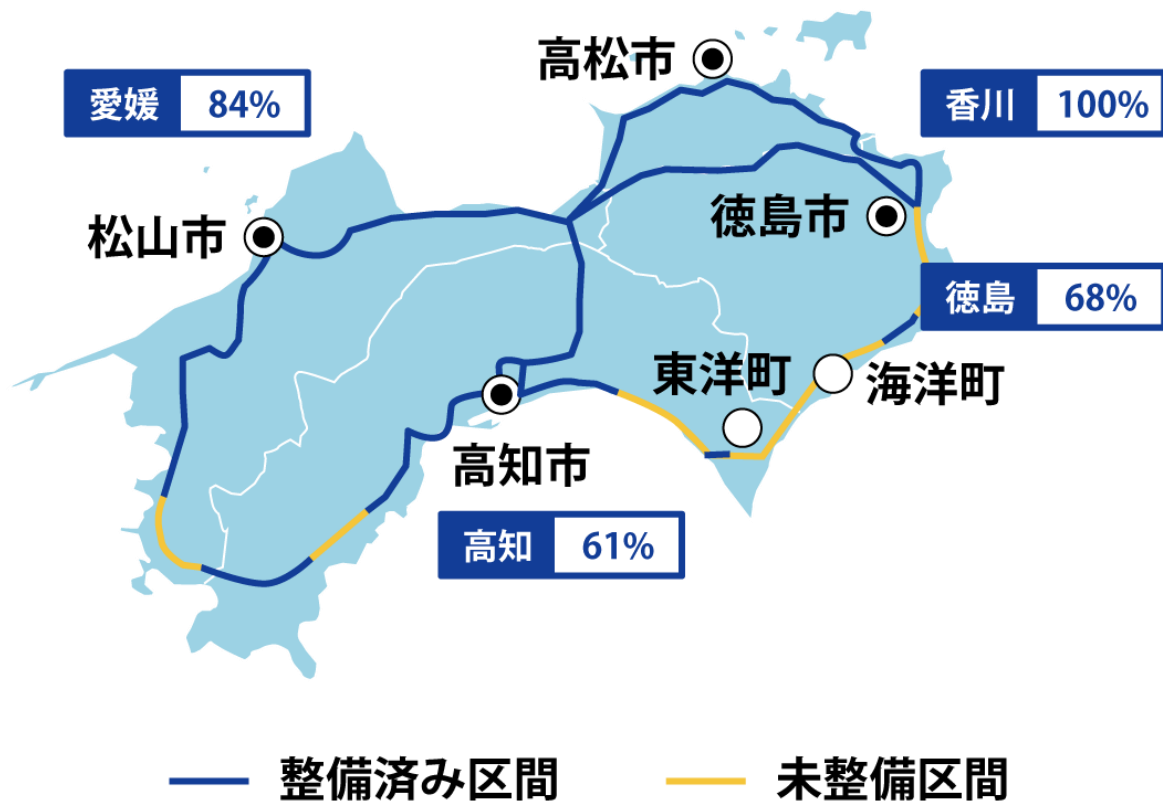
宿泊施設

03

ローカルコンテンツ

【仮説】 四国観光はヘリコプターと相性がよいのではないか

四国8の字ネットワークの整備状況



交通網の整備不足

- ・ 四国内で鉄道やバスの路線数が少なく、観光地へのアクセスに制約があるエリアが多い。
- ・ 特に山間部や秘境とされる観光地へは公共交通が十分に通っておらず、訪問には車がほぼ必須。

公共交通の運行本数が少ない

- ・ 公共交通機関の本数が少なく、都市間の移動においても運行頻度が限られている
- ・ 観光地によっては1日に数本しか運行されていない路線もあり、効率よく巡るのが難しい。

シャトルサービスの不足

- ・ 国際免許が必要な外国人旅行者にはハードルが高い
- ・ 一部の観光地へのアクセスを補完するシャトルバスや観光タクシーの運行が少ないため、公共交通の補完手段が限定的

交通アクセス

高松空港（最寄り空港）→大歩危

車で**2時間**、
公共交通機関で**4時間半**
ヘリコプターなら**15分**。



交通アクセス

京都市内→大歩危

車で5時間、
公共交通機関で4時間半
ヘリコプターなら**遊覧付**で
1時間。



災害用に整備したヘリポートの活用

ヘリコプターを使う層の特性

宿泊

雲海を眺める宿泊体験

宿泊

茅葺き古民家で過ごす何気ない田舎の美しさ
桃源郷祖谷の山里

● 連の迫力を肌で体感／いけだ阿波おどり



● 斜めの世界で生きる知恵を体感／世界農業遺産「にし阿波の傾斜地」



求めているヒントやネットワーク

ターゲット層へ上手くリーチすることが出来なかった

より魅力的な観光コンテンツへ磨き上げるノウハウ

観光コンテンツの担い手の解消